

わくわく仕掛け人

西村 浩の

公共空間の使い方が変われば、

ひよつとしたら

まちは変わるんじゃないか

と知っている 今日この頃のお話




新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2020.2.28(金)から延期になりました

2020年 **10**月 **30**日(金) 18:30 開演 (18:00 開場)

ゆめたろうプラザ 響きホール 入場無料 全席自由(要申込) * 未就学児の入場はご遠慮ください

8月8日(土) ゆめたろうプラザ窓口にて受付開始 ※電話申込みは8月9日(日) から

主催: NPOたけとよ・武豊町

 ゆめたろうプラザ(武豊町民会館) TEL 0569-74-1211 <http://www.town.taketoyo.lg.jp/kaikan/>
〒470-2555 愛知県知多郡武豊町大門田 11 番地 FAX 0569-74-1227 休館日: 月曜日(祝日の場合翌平日) 及び年末年始 受付時間: 9:00 ~ 21:00

新型コロナウイルス感染症の影響等により 延期、中止の可能性があることを予めご了承下さい

マスクや消毒など感染予防対策をしてご参加ください



小さくても、楽しい出来事の連鎖で街の新陳代謝を活性化する - これからの幸せまちづくり論 -

“空き地が増えれば街が賑わう”を合い言葉にスタートした、佐賀市の「わいわい!! コンテナ」は、空き地の価値を検証するための社会実験です。全国の地方都市と同様に佐賀市の街なかにも、空き家が壊されて空き地となり、車依存の生活スタイルを変えられないまま、青空駐車場だけの殺伐とした風景が広がりつつありました。右肩上がりの時代であれば、再び高密度な都市再生を目論むところですが、急激な人口減少や高齢化、経済の縮小を考えると、むしろ空き地の価値を再考し、増え続ける空き地の配置やありようをマネジメントしていくことのほうが現実的で、今後の都市空間の持続的な価値を支えてくれるように思えたのです。

そこで、街なかを増殖する青空駐車場や遊休地を“原っぱ”に置き換えてみました。原っぱは、市民自らが決めたルール以外利用制限はなく、市民の自己責任で活用され、子ども達が自由に遊び、それを周囲の大人達が温かく見守っている。マナーさえ守れば商売も可能で、イベントも自由に行えます。原っぱには、行政頼りだった市民の意識を変え、地域住民の自由な発想や行動意欲を引き出す力がありました。こうして次第に夜の飲み屋街となりつつあった街なかにも、平日の昼間でも少しずつ市民が訪れるようになり、次第に街の“基礎体力”が回復していきました。

いま、佐賀市の街なかでは、「わいわい!! コンテナ」周辺に、不動産への投資の動機が生まれ、空きビルや空き店舗のリノベーションによる再生・活用が進んでいます。

地域をはじめ、たくさんの「ヒト」に参加してもらい、楽しい「コト」を自ら発想し、そのために必要な「モノ」をできるだけ自分の手で作りあげていく、「小さくても楽しい出来事の連鎖」で元気を取り戻すまちづくりの手法をお話したいと思います。

講師：西村 浩 - にしむら ひろし -



建築家/クリエイティブディレクター
株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役
オン・ザ・ルーフ株式会社 代表取締役
株式会社リノベーション 取締役
マチノシゴトバ COTOC0215 代表

【講師プロフィール】

1967年佐賀県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年にワークヴィジョンズ一級建築士事務所を設立。

土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、都市再生戦略の立案からはじまり、建築・リノベーション・土木分野の企画・設計に加えて、まちづくりのディレクションからコワーキングスペースの運営までを意欲的に実践する。

日本建築学会賞（作品）、土木学会デザイン賞、BCS賞、ブルネル賞、アルカシア建築賞、公共建築賞 他多数受賞。北海道岩見沢市の「岩見沢複合駅舎」は、2009年度グッドデザイン賞大賞を受賞。

会場のご案内



武豊町民会館 Taketo Community Arts Center

ゆめたろうプラザ



●交通案内

- 名鉄河和線「知多武豊駅」より徒歩20分
- JR武豊線「武豊駅」より徒歩25分
- 知多半島道路「武豊IC」より車で5分 (P350台有)
- ◎コミュニティバス「ゆめころん」 1乗車100円



Google Map



ゆめころん時刻表

〒470-2555 愛知県知多郡武豊町大門田11番地 TEL 0569-74-1211
<http://www.town.taketo.lg.jp/kaikan/>